



「山梨の特産品」の調べ方

2008.6 山梨県立図書館



概要を調べる

1. どんな特産品があるのか調べる

- 『甲斐路ふるさとの特産』ふるさと自慢シリーズ（山梨日日新聞社 1983年）
1982（昭和57）年に選定された「ふるさとの特産」65点を紹介しています。はじめりや特徴、製品ができるまで等詳しく解説されています。
- 『YAMANASHI GIFT COLLECTION』（山梨県物産振興協会 1996）
山梨県産品を紹介するギフトカタログ。食品編と甲州の名品図鑑民芸品編に分かれています。ワイン、農林水産物加工品、貴金属製品、印章、硯、印伝などの各企業別に商品を紹介しています。観光案内や特産品の簡単な解説なども掲載されています。
- 『山梨の観光あんない』（山梨県大型観光キャンペーン推進協議会 1999年）
伝統工芸品や民芸品・名産品・特産品の一覧が掲載されています。照会先や交通アクセスについての案内も載っています。
- 『山梨100選』（山梨日日新聞社出版部 2005年）
2001（平成13）年1月に選定された100選に自然や名所と共に特産品が収録されています。生産に携わる人々のエピソードも掲載されています。
- 『yamanashi BRAND』山梨の物産カタログ
（山梨県物産振興協会 山梨県商工労働観光部商業振興課）
山梨県の特産品をジュエリーやニット、伝統工芸品、食品に分けて紹介しています。解説には英文も付されているので、外国人向けに説明する際にも役立ちます。
- 『山梨の伝統工芸品』（東京電力山梨支店）
国の指定や県の認定を受けた伝統工芸品11点を紹介しています。解説と作業工程、作業風景や製品のカラー写真が1ページにまとめられています。
- 『ザやまなし』（山梨日日新聞社）

伝統工芸品や果実、花などの特集が組まれることが多く、県内各地の特産品について詳しく掲載されています。各市町村の特集の中にも、特産品の情報が載っています。

インターネット情報源

「JA山梨中央会」(<http://www.ja-yamanashi.or.jp/>)

「山梨の美味しいもの」「山梨の農業」の中で、農産物の特産品を紹介しています。それぞれの解説の他、果物の健康情報をまとめた「フルーツパワー」も載っています。

「山梨県の郷土伝統工芸品」

(<http://www.pref.yamanashi.jp/shouko/kogyo/densan/index.htm>)

「山梨県郷土伝統工芸品認定要綱」に基づいた山梨県指定の伝統工芸品（郷土伝統工芸品）12品目について、歴史、特徴、技術・技法、生産者関係の照会先などがまとめられています。

「山梨なるほど地場産見聞録」(<http://www.kaiterasu.jp/kenbun/index2.html>)

それぞれの産業について解説、企業数、従業員数、全国シェア、関連サイトなどの情報が載っています。地場産業についてのクイズも掲載されています。

観光情報も使えます

おみやげを買うならその地域の特産品が一番。おみやげの開発には力を入れているところが多く見られます。観光情報には、おみやげにしたくなる特産品の情報も満載です。

『マップルマガジン山梨甲府』（昭文社 2004年）

『るるぶ山梨』（JTB 2007年）

「やまなしの物産」パンフレット（山梨県観光物産連盟）

「富士の国やまなし観光ネット」

<http://www.yamanashi-kankou.jp/index.html>

2. 産業の歴史を調べる

『山梨県風土記』（旺文社 1984）

近世の甲斐の産業、近現代の山梨県の経済についての記述に、当時の産業の様子が解説されています。巻末に索引がついています。

『図説山梨県の歴史』（磯貝正義編 河出書房新社 1990）

豊富な図版や写真を掲載し、山梨の歴史が詳しく解説されています。時代ごとの産

業についても触れられています。巻末に年表、五十音索引が付いています。

『山梨県の歴史』(飯田文弥ほか 山川出版社 1999)

山梨県の歴史の概説書。各時代ごとにまとめられ、甲州商人や紙、養蚕、果樹などについての記述があり、産業の変遷について知ることができます。巻末に年表と索引が付いています。

『山梨県史』

28巻31冊にわたり山梨県の歴史について詳細にまとめられたもの。各時代の産業について詳しく知ることができます。

3. 県の取り組みについて調べる

産業振興に関する山梨県の政策や計画、報告がまとめられています。

『活力ある発展をめざして』(山梨県 山梨県商工労働部商工企画課 1981)

『やまなし・産業高度化ビジョン』(山梨県 1994)

『富士の国やまなし観光振興ビジョン』(山梨県 山梨県商工労働観光部観光課 2000)

『山梨県産業振興計画』(山梨県 2004)

『山梨県商工労働観光施策ガイドブック』平成11年版

(山梨県 山梨県商工労働観光部 1999)

インターネット情報源

「山梨県」(<http://www.pref.yamanashi.jp/pref/index.jsp>)

観光・物産や産業に関する政策が載っています。また山梨県が主催する観光・物産イベント情報も掲載されています。観光・物産のリンク集もあります。



地域から調べる

その地域の市町村史誌を見てみましょう。「特産品」という項目以外にも「産業」「農業」「商工業」などにその地域の特産品についての記述があります。

例：『勝沼町誌』(勝沼町役場 1962年) 「第五編 勝沼町と葡萄の歴史」

各市町村が発行している要覧や広報、ホームページにも各地の特産品が紹介されている場合があります。

例：身延町役場 (<http://www.town.minobu.lg.jp/>)

観光ガイドの「見どころみのぶ」に特産品の解説と写真が掲載されています。

「JAフルーツ山梨」「JAふえふき」「JAふじかわ」「JAこま野」「JA梨北」「JA西八代」のホームページには、各地の特産品の紹介が載っています。

例：「JA梨北」(<http://www.jarihoku.or.jp/>)

「特産物紹介」として、韮崎市・北杜市方面の特産品について解説と写真が掲載されています。

『し・ん・せ・ん山梨の特産品ガイド』(山梨県特産品の里振興協議会 1992年)

県内を5つの地域に分け、1992(平成4)年当時の市町村それぞれの特産品を紹介しています。どの地域にどのような特産品があるのか、概要を知るのに便利です。

『市民読本 甲府の今昔』(山梨出版者 1957年)

「伝統の土産品」として、甲府を中心とした当時の特産品が紹介されています。

『ふるさといちかわ』(市川中学校PTA 1987年)

旧市川大門町の歴史や産業についてまとめられ、和紙や花火について載っています。

『水と緑の風景』(竜王町教育委員会 1990年)

旧竜王町の特産品の変遷や現在の特産品について解説されています。



それぞれの特産品について調べる

1. ぶどうとワインについて調べる

【概要を調べる】

『やまなしのブドウ』(関東農政局甲府統計・情報センター 2006)

全国のぶどうにおける山梨県のシェアや栽培面積などの統計情報や、栽培・販売方法などの情報を調べることができます。

『ブドウ品種解説』(植原葡萄研究所)

植原葡萄研究所であつかう苗木のカタログです。掛け合わせや実について詳しい説明が載っています。1985～2005年は冊子でご覧いただけますが、最新のものは植原葡萄研究所のWebサイト(<http://www.uehara-grapes.jp>)から確認できます。

『市民講座ワイン学入門』(山梨大学 山梨日日新聞出版局 1996)

山梨大学と山梨県ワイン酒造組合で共催された「市民講座ワイン学入門」をまとめたもの。科学的な研究と生産・消費の面からワインを知ることができます。

『ワインと宝石』

(山梨大学「ワインと宝石」編集委員会 山梨日日新聞社出版局 1998)
前半7章がワインにあたり、ワインとぶどうの関係、発酵や微生物、健康への影響など、科学の目で見えたワインについて平易に解説しています。

『**山梨のワイン WINE HANDBOOK**』(山梨県果実酒酒造組合)

ワインを楽しむためのコツやワインの歴史、ワインに関する用語、国産ワインの表示などが、イラストと共にまとめられています。

インターネット情報源

『**山梨県ワイン百科**』(<http://www.yitc.go.jp/wine/>)

山梨のワインの歴史やワイン用のブドウの解説、山梨のワイナリーマップなど、ワインを知る・楽しむための様々な情報が載っています。

『**ワインの丘**』(<http://www.wine.or.jp/>)

ワイン用語辞典や香りの表現方法など、ワインを楽しむための情報が充実しています。山梨や日本のワイナリーの案内も載っています。

【歴史を調べる】

『**ぶどうの国文化館 歴史読本**』(上野晴朗 勝沼町役場 1995)

ぶどうのルーツをギリシア・エジプトまでさかのぼり、勝沼がぶどう郷として発展するまでを、写真や図版を多く用いて解説しています。また、勝沼のワインについても同様に解説しています。

『**山梨県におけるぶどう・ぶどう酒産業の50年**』(内藤欽一 1997)

1955(昭和30)年～1994(平成6)年まで、各年ごとにぶどう栽培やぶどう酒の生産量、消費動向や気象概況などを記録しています。

『**山梨のワイン発達史**』勝沼・ワインの100年(上野晴朗 勝沼町 1977)

勝沼を中心とした山梨県産ワインの歴史について多くの資料を用いてまとめられています。また戦後の復興の様子が各企業ごとにまとめられています。

『**ぶどう酒物語**』(山梨日日新聞社 1978)

1977(昭和52)年3月から78回にわたって山梨日日新聞に連載されたシリーズをまとめたもの。甲州ワインの歴史が読みやすく書かれています。巻末に日本ワイン史年表が付いています。

『**日本ワイン文化の源流**』(上野晴朗 サントリー株式会社 1982)

茅ヶ岳山麓登美高原のぶどう園の歴史を中心に、山梨のワインの歴史を紹介しています。

【栽培・醸造について調べる】

『**葡萄三説**』(高野正誠 1890)

1877(明治10)年、ワイン作りを学ぶためにフランスに留学した著者が、帰国後に著したもの。ぶどう作りの心構えから栽培する種類、剪定、施肥、病害虫についてなどの栽培に関する事、ワインの醸造に関する事について、詳細にまとめられています。歴史資料としても活用できます。

『**ブドウ甲斐路の栽培指針**』(山梨県果樹園芸会ブドウ部・甲斐路班 1985)

「赤いマスカット」を目指して品種改良された「甲斐路」。山梨県を代表するこの品種について栽培方法を細かく解説しています。

『**葡萄の郷から**』**おいしいブドウのできるまで**(山梨県果樹園芸会 2007)

「品種と生育特性」「栽培管理の実際」「品種別の管理」の項目に分けて、豊富な写真や図版とともに解説しています。巻末には用語解説や「ブドウ栽培に関する年鑑」など、参考資料が付いています。

2. 宝飾、ジュエリーについて調べる

【歴史を調べる】

『**水晶宝飾史**』(篠原方泰編 甲府商工会議所 1968)

江戸時代から昭和40年代までの山梨県の宝飾史を解説しています。鉾山の歴史や宝飾研磨の歴史などが網羅的にまとめられています。巻末には年表が付いています。

『**水晶ものがたり**』(大森文衛 大森昭次 1971)

水晶の発掘、研磨技術、数珠や眼鏡といった加工品、販売の各分野ごとの歴史についてまとめられています。

【宝石について調べる】

宝石について調べるには、一般の資料が参考になります。

『**ジュエストーン百科全書**』(八川シズエ 中央アート出版社 2004)

原石と研磨した石の両方の写真、色、結晶系、化学組成など、基本的なデータが集められています。巻末に日本語と英語の索引が付いています。

『**世界の天然無処理宝石図鑑**』(柏書店 2005)

宝石の色別に分類されている図鑑です。石名の由来や石にまつわるエピソードなども掲載されています。日本語、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語の各石名も併記されています。

『**宝石**』改訂版1～3(諏訪恭一 世界文化社)

宝石の種類からデザインまで、それぞれの巻ごとにまとめられています。巻末には光学、素材、歴史・人物などのテーマごとに用語解説が付いています。

【宝飾業界について調べる】

『YJA40年のあゆみ』人に、夢に輝きつづけて（山梨県ジュエリー協会 1994）

山梨県ジュエリー協会の40年を振り返る資料です。『山梨県ジュエリー協会50年のあゆみ』（山梨県ジュエリー協会 2004）と併せると協会の50年を調べることができます。

「山梨研磨宝飾新聞」（山梨県研磨宝飾新聞社）

山梨県における宝飾産業の専門紙です。宝飾業界の最新情報やトピック、企業情報について知ることができます。

インターネット情報源

「協同組合山梨県ジュエリー協会」（<http://www.j-gate.net/~yja/>）

イベント情報や山梨県における水晶や宝飾業界の歴史が詳しく載っています。取扱品目（素材、材質、製品、キーワード）から会員名簿を検索することができます。

雑誌も見てみましょう

学会誌でなくても、最新の情報を得ることができます。

- ・ワイン関連
 - 「ヴィノテーク」（ヴィノテーク）
 - 「WANDS」（ウォンズパブリッシングリミテッド）
 - 「br」（ワインツーリズム山梨）
 - ・ジュエリー関連
 - 「JEWEL」（レーヌ出版）
 - 「ジェモロジ」（全国宝石学協会）
 - 「宝石の四季」（ジュリージャーナル）
 - 「れ・じゅわいよ」（新宝飾）
- 37号、49号では山梨県の宝飾について特集されています。

2. 和紙について調べる

『市川紙業史 和紙』（村松志孝 1950）

市川大門町（現・市川三郷町）における和紙産業の歴史や技術についてまとめられています。附録として「甲斐紙漉記」が付いています。

『近世製紙業の研究』（斎藤左文吾 山梨日日新聞社 1996）

江戸時代の市川大門村（現・市川三郷町）を中心とした製紙業についてまとめられ

ています。古文書の翻刻なども収録されています。

『西島紙の歴史』(笠井東太 西島手すき紙工業共同組合 1957)

紙の伝来や武田信玄と紙の関わり、江戸時代における西島での製紙産業についてまとめられています。

『おしゃれ工房』8月号(NHK出版 2007)

「おしゃれ工房夏スペシャル 甲州・伝統の手工芸を訪ねて」と題して、西島手漉和紙を紹介しています。

3. 印章について調べる

『印信』(茂手木勇 モテギ 1993)

山梨県における印章業と山梨県印章業組合の歴史を中心にまとめられています。「印章史略年表」が収録されています。

『六郷町印章誌』(六郷町印章誌編さん委員会 六郷町 1975)

印章の解説や六郷町(現・市川三郷町)における印章産業の歴史についてまとめられています。印章を中心とした日本中国対照年表が付いています。

『六郷 印章のふるさと』(六郷町 1987)

小冊子ながら印章業の歴史や作業工程、印章の種類などがカラー写真とともに簡潔にまとめられています。

インターネット情報源

「TSN六郷印章センター」(<http://www.rokugo.com/>)

印の雑学事典やQ & A、実印や認印などの印鑑に関する解説が載っています。

4. 果樹について調べる

『統計からみた果樹の動向』

(関東農政局山梨農政事務所甲州統計・情報センター 2007)

果樹の生産や流通・消費についての統計や、ぶどう・もも・すもも・おうとうといった主要果樹の動向について解説されています。

『おいしいねふえふきのもも』

(関東農政局峡東統計・情報センター 山梨農林統計協会 2004)

カラー写真やイラストが豊富で、桃の歴史や栽培方法、全国シェアなどについて分かりやすく書かれています。

『桃の郷から おいしい桃のできるまで』(山梨県果樹園芸会 2004)

品種と生育特性や栽培について、豊富な図版や写真とともに解説しています。巻末には用語解説や「モモ栽培に関する年鑑」などの参考資料が付いています。

『山梨のすもも 21世紀への展望』(関東農政局 山梨県農林統計協会 1995)

すもも栽培の沿革や品種の特性、病害虫の被害などについて書かれています。

『うめの現状と将来展望』(関東農政局 山梨県農林統計協会 1989)

甲州こうめを中心に、歴史、加工、流通などについて統計をもとに解説しています。

インターネット情報源

「山梨県果樹試験場」

(http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kajushiken/103_001.html)

「登録品種情報」では、ブドウ、モモ・スモモのそれぞれの品種について、詳細な情報が載っています。

5. その他の特産品について調べる

『山梨県蚕糸業概史』(山梨県蚕糸業概史刊行会 1959)

山梨県における蚕糸業の動きが、明治維新前から昭和30年代前半にわたりまとめられています。巻末に各種調査、山梨県蚕糸業関係規則が付いています。

『絹の道』山梨県蚕糸業の歩み(山梨日日新聞社 1976)

山梨日日新聞に連載された「絹の道」をまとめたもの。山梨県の養蚕・製糸・織物業界について、また蚕糸業と県内経済の関係についてまとめられています。

『鹿章彩飾の考察と甲州印伝』(出沢利美 1999)

鹿章^{かわ}の歴史や染織・文様などの技術、甲州印伝について、古文書などの資料にもとづき紹介しています。

「おしゃれ工房」8月号(NHK出版 2007)

「おしゃれ工房夏スペシャル 甲州・伝統の手工芸を訪ねて」と題して、甲州印伝を紹介しています。

「きょうの料理」8月号(NHK出版 2007)

「ケンタロウのメシタビ 甲州夏のめん」と題して、ほうとう、おざら、みみを紹

介しています。

郷土の恵み 人の技

郷土資料室では「郷土の恵み 人の技」のコーナーを設置しています。ぶどうや桃などの果樹に代表される郷土の恵みや、ジュエリーや和紙といった人の技の数々を調べるための資料を揃えています。パンフレットも分野別にファイルしています。調査の際にご活用ください。